



ふくま



未来へ、大きな花を咲かせよう

東飯田小学校卒業式から 15ページに関連記事

広報

ふくのえ

もくじ

平成16年度施政方針	2	九重町教育行政基本方針	16
平成16年度当初予算	6	図書館だより	17
合併協議会東結を申し入れ	8	農業委員会だより	18
飛インフルエンザ	10	まちの話題/交通安全	19
緑の羽根で豊かな森林を/119	12	くらしの情報	20
チームワークでつかんだ世界一/地域力	13	人権/当番	22
保 健	14	歳時記/時間旅行	23
		人の動きふれあいタイム	24



もっと、 住民の力

平成16年度施政方針



役場新採用職員です。
よろしく
お願いします。



▲策定作業がすすむ「まちづくり基本条例」

九重町のまちづくりは、一步一步着実に進んでいます。市町村合併に向けた動きが各地で早まっています。私たちは、住民のみなさんと、この問題について、とことん話してきました。あらためてこの方法は間違っていないかと確信しています。

三位一体改革や地方分権といった言葉を聞きますが、その根本は「自分たちの町のことは自分たちで決めていく」こと。市町村合併も同じです。「十分な情報を提供した上で、住民の意見をじっくり聞くこと」を繰り返しながら、将来のまちづくりを探る。この繰り返しですが、町に大きな力を与えてくれました。

今後、状況は、ますます厳しくなっていきます。しかし、町と住民が手を取り合うことで、この困難は乗り越えられるはずで、合併問題にひとつの区切りをつけようとする今、さらに、住民の力を活かしたまちづくりをしていきます。まちづくりは、行政と議会だけできるものではありません。主人公は住民のみなさんです。

住民が行政とともにまちをつかっていくためのルール「まちづくり基本条例」も今年、姿を現します。

来年2月で九重町が生まれて50年。記念事業にも取り組みますが、これを区切りに、住民が主人公の新生・九重町がスタートする。そんな1年になりそうです。



堅実な財政で

乗り越えていく

行政改革

国・地方の財政とも悪化の一途をたどっています。国そして地方自治体はこの困難から抜け出そうと必死の取り組みを行っています。九重町も例外ではありません。三位一体改革のありを受け、命綱とも言える地方交付税や各種補助金が削減されています。私たちの生活同様、収入が少なくなったら、それに見合った支出を考えなければなりません。今年度の一般会計当初予算は74億円強、昨年の当初予算に比べ、45%減らしました。このため、「重要度」「緊急度」「実現度」を尺度に事業の選択をしました。

私たちは、平成8年度以降「日々改革」をスローガンに行政のスリム化をすすめてきましたが、ゆるめることなく、さらに改革を進めていきます。その上で、住民のみなさんの満足できるまちづくり、使いやすい役場づくりを進めていきます。

未来をかける橋

観光

重点事業のひとつが鳴子川渓谷にかかる、高さ、長さとも日本一の「大吊橋」です。すでに周辺工事を行っています。本体工事も発注しました。この橋は町の命運をかけたものです。平成18年3月の完成に向け、観光宣伝はもちろん、農業・商業などの分野を含めた「橋+アルファ・プロジェクト」を始めます。ここでも住民のみなさんの力を貸してもらいたいと思います。景気の低迷などで「滞在型観光」は伸び悩んでいます。「魅力ある地域づくりこそ観光の基本」です。恵まれた自然環境や地熱・温泉などの町独自の資源を十分活かした観光地づくりをめざします。

しっかりした

農業のすばらしさ

九重町の魅力のひとつは「しっかりした農業」があることです。コメを基幹作物にして、1村6品（キャベツ・トマト・なし・肉用牛・花卉・しいたけ）を中心に白ねぎやブルーベリーなどの農業が盛んに行われ、理想的な農村風景を作っています。この町の農業に魅力を感じ、訪れる人も年々増えています。グリーンツーリズムを引き続き推進し、九重農業のファンを増やしていきます。一方で、農業をめぐる環境は大きく変わっています。昭和40年から続いていたコメの生産調整から、担い手農業経営者や農業団体を主役とした消費者重視・市場重視の政策に転換しようとしています。これに基づき、担い手農業者を主役とした「売れるコメづくり」を推進していきます。九重の農業基盤をより強くするため、コメ以外にも様々な施策を準備し、支えていきます。

九重町の農業粗生産額の3分の1を占めるのが畜産です。しかし、ここ数年、BSE問題などで苦況に立たされることもありましたが、全頭検査体制などを整え、安心安全の畜産をめざすとともに低コスト畜舎の導入など、畜産経営の安定化に向けた環境整備を行います。九重町の78%は森林です。森林には様々な機能があり、私たちの生活を支えています。森林を守り、育てていくための事業を行っています。



▶ 埼玉県立川口高校2年生の
農科生活体験
（相談員・佐藤八千子さん宅にて）



一人ひとりの健康づくり、 支え合いがまちづくり につながる

保健福祉

健康の基本は、食生活を見直すなど一人ひとりの自主的・自発的な健康づくりです。九重町では昨年3月に「健康づくり21計画」を策定しました。これに沿い、今年も「二次予防」に重点をおき、一人ひとりの健康づくりを支えていきます。九重町の65歳以上の割合（高齢化率）は、31.5%。この数値は年々高まっています。全国より早く、九重町は超高齢社会を迎えました。地域の担い手の多くが高齢者となっています。超高齢社会を明るく活力あるものとするのが大切です。介護が必要なる人も増えてきます。それを支える介護保険もスタートして4年が経ちました。「すべての人が住み慣れた家庭や地域の中で安心して暮らしていける」よう、介護保険だけでなく、生活全般を支える体制の充実にも努めます。そのためには、行政による各種サービスや施設だけでなく、ボランティア団体や住民参加による地域福祉活動が必要となりますが、その気運が高まっています。これらの活動を後方支援していくことで、高齢者だけでなく、障害者や子どもをはじめとした「地域に住む人々だれもが助け合い、住みやすい・自立した地域社会」の実現をめざします。

かけがえのない自然を 自分たちで守る

環境保全

かけがえのない環境を守るため、まずしなければならぬこと、それは私たち一人ひとりの生活スタイルを見直すことです。これまでの大量消費・大量廃棄の生活から循環型社会に向けた取り組みを始める必要があります。それには3つのRの取り組みも有効です。「リデュース（減らす）」「リユース（繰り返し）」「リサイクル（再資源化）」です。これを基本にこみの減量化に努めます。地

球規模で温暖化が問題となっています。その原因とされる二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを引き続き行うとともに、浄化槽設置事業も推進、河川の水質を守る取り組みも行います。

住みやすい町を作っていく 生活基盤の整備

住みやすい町を作るため、道路の整備は欠かせません。町内を走る国道や県道には、まだ改良の必要などがあります。引き続き県などに要請していきます。町道関係では、宝泉寺・栗原線の改良工事が昨年から始まり、今年には2工区の工事着工をしていきます。その他の町道についても順次計画通り整備を行っていきます。

町営住宅は、老朽化が激しいところもあり、整備をしてきました。15年度は恵良住宅第1期工事を行い、今年度は、第2期工事に向けた調査・設計を行います。

生活する上で、水の確保も欠かせません。住民が安心して利用できる水道の安定的な供給に努めます。

自分たちの安全を 自分たちで守る

安全・安心の地域づくり

ここでも住民のみなさんの活躍が始まりました。最近、治安の悪化が目立っています。一人暮らし高齢者などをねらった巧妙かつ悪質な犯罪も増えています。昨年、恵良駐在所が廃止になったことから、住民のみなさんによる自主的な「防犯パトロール隊」が結成されました。こういった自主的な活動が、今後、町内全体に定着していくよう、側面的な支援に努めていきます。

耐用年数が経過した防災行政無線放送施設の整備工事が本格的に始まります。各世帯の戸別受信機は、町の備品貸出としますので、取り付け、年間維持管理費は町が負担します。個人負担はありません。



◀県道田野野上線バイパス
竣工式 (H15.4.16)



▶文化センターのインターネット端末にて

ません。これにより災害時の緊急通報体制などが一層充実します。
私たちが受ける予期せぬ災害には様々なものがあります。特に火山の噴火・地震には一層の対策強化が求められます。噴火を想定した訓練を実施するなど危機管理体制の充実を行っていきます。また、今年2月に発生した鳥インフルエンザについては、新たな危機管理体制の必要性を痛感しました。ウイルスに対する危機管理体制を作っていく必要があります。

刺激的な田舎暮らし

情報化社会

ドッグイヤーという言葉があります。犬の1年は、人間にしたら7年に値すると言われることから、インターネットの1年は実作業の7年に値するスピードで発展している様子を表しています。各地で電子自治体の推進が行われています。九重町でも今年10月から一部の業務の電子申請が可能となります。しかし、都市部に比べ、九重町のインターネット利用環境は、大きく遅れており、ブロードバンド環境（ADSLや光ケーブルを利用した高速通信）の整備は差し迫った課題となっています。世界中の情報をすばやく受け取るだけでなく、世界中に情報を発信できる魅力ある田舎であるためにも、日本のIT戦略を見据えた対策と環境整備を行っていきます。

魅力的な田舎暮らし

地域振興

田舎暮らしが人気を集めています。「UJリーディング」に引き続き取り組みます。
企業立地・企業誘致は、厳しい状況が続いていますが、引き続き情報収集や受け皿作りを努めていきます。佐世保市と姉妹都市交流を初めて今年で13年。引き続き交流を進めます。筑後川流域での上下流域間交流も住民同士で深まっています。

す。この支援にも努力します。

子どものすこやかな成長を

願って、幼保一体化

町の将来を担う子どもの問題は、地域全体の課題です。九重町では平成14年度から地区ごとの幼保一体化（一）を行ってまいりましたが、多岐・多様な保育ニーズに対応するため、さらには財政効率や少子化の進行状況を考えると、全町1カ所で総合施設を作り、そこで一貫した教育・保育をすることが望ましいとの方向性を出しました。しかし、保護者のみなさんなどの理解を得られなかったことから、あらためて検討委員会を設置しました。保育所関連の国の補助金が廃止されるなど、財政環境も急激に悪化しており、行財政改革の視点での見直しも必要となります。また現行の保育所・幼稚園ではなく、第三の選択肢として幼保一体型の総合施設が国段階で検討されており、16年度中に基本構想が策定される見込みです。この動向を見守りながら、検討委員会で十分な協議を行い、「幼保一体化」のあるべき方向を定めます。
また次世代育成支援行動計画を策定し、子ども達がすこやかに成長できるよう、子育てに必要な生活環境等総合的な整備を行っていきます。

生きるってすばらしい！人権

21世紀は人権の世紀とも言われています。部落差別問題を解決するための法律「特別対策事業法」が終了して2年がすぎました。この法律が差別解消に果たした役割は大きいものがあります。しかし、依然、部落差別をはじめとする様々な人権侵害や差別の問題は根強く残っています。この問題は、住民すべてが考え、解決していかなければならない問題です。すべての人が「この町に住んで良かった」と思える町を作っていくためにも人権問題の解消に向け、積極的な取り組みを続けます。



▲昨年の「いのち・愛・人権フェスティバル」から(11.12.7)



▲木の葉保育園の子どもたち(昨年の入園式から)

※幼保一体化とは、幼稚園と保育園に通う子どもたちを同じ就学前教育を受ける「すこやかな一貫した幼児教育を行うこと」

予算総額

115億9,862万円

苦しくとも堅実な財政運営を続けます

平成16年度の一般会計予算は7,417,000千円（74億1,700万円）、特別会計予算の合計は4,181,620千円（41億8,162万円）です。特別会計とは、特定の事業を行うとき、特定の収入をもって行うことになり、一般会計収支と分けて経理するため設けられています。九重町では、国民健康保険など6事業がこれにあたります。

平成11年度から続く恒久的な減税の影響及び国による三位一体改革に伴う地方交付税の大幅な減額が続いています。健全財政の運営のため、優良な町債の発行、国・県の補助金制度や基金制度等の円滑な活用を回りながら財源確保に努め、少子高齢化社会等に対応すべき地域福祉及び地域振興施策の充実に努めた予算編成としました。

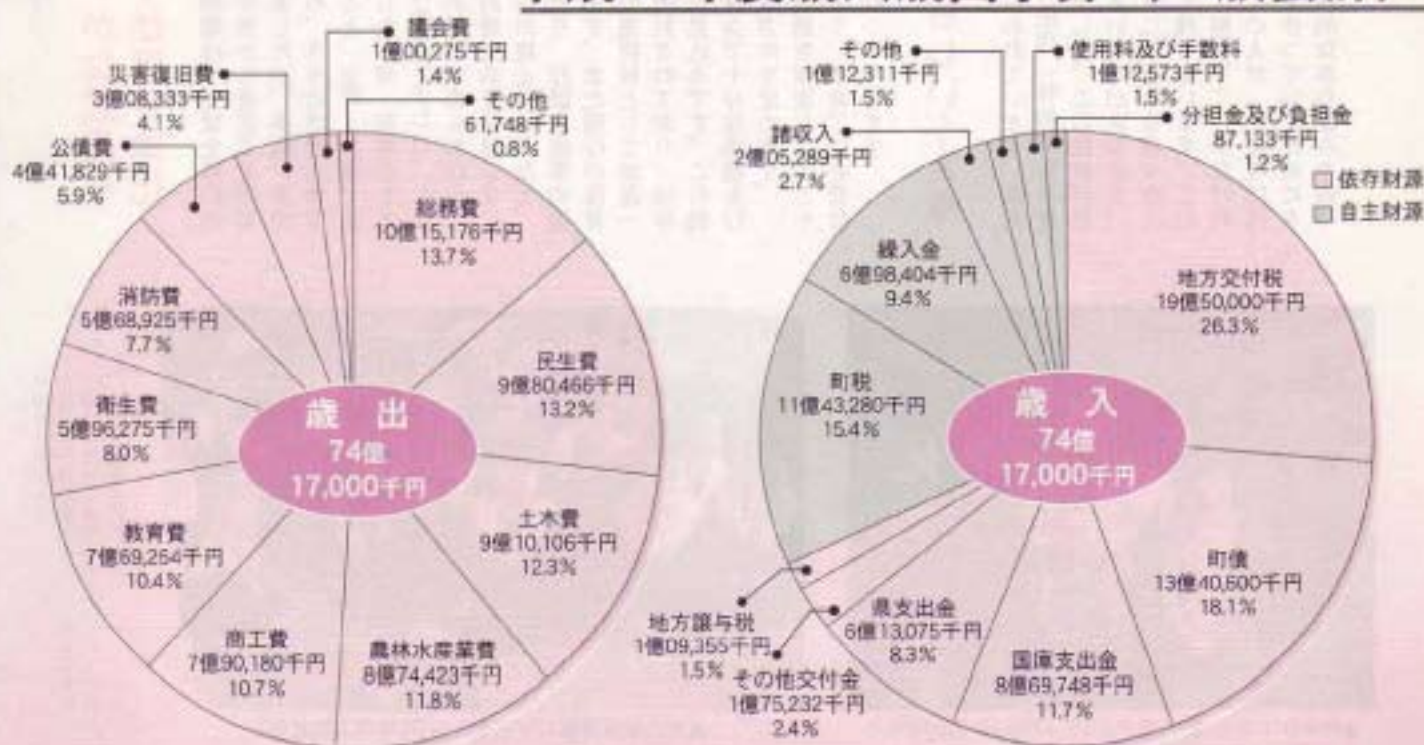
一般会計は、前年度対比で4.5%（3億5,300万円）の減額となりました。これは、国や県の補助事業が縮小・廃止されたことも要因の一つですが、主な要因としては、恵良住宅建設事業や灌漑小学校水泳プール改築事業が完了したため減額となったものです。

本年度も各種事業を実施するときは、必要性や効果等を十分に検討し、行政改革の具体化と経常的な経費の更なる削減を回りながら、健全な財政運営に努めます。

17,000千円
=1千7百万円です。




各会計の予算額	【一般会計】	74億17,000千円	町税の内訳	町民税	2億55,501千円
	【特別会計】			固定資産税	7億86,676千円
	国民健康保険	12億03,276千円		軽自動車税	24,001千円
	水道	3億03,765千円		町たばこ税	50,000千円
	同和住宅資金貸付事業	2,980千円		入湯税	27,100千円
	飯田高原診療所	81,647千円		その他	2千円
	老人保健	16億21,247千円		予算総額	11億43,280千円
	介護保険	9億68,705千円			
	予算総額	115億98,620千円			

平成16年度歳入歳出予算（一般会計）



町民1人当たりが負担する税額	
 町民税	21,614円
 固定資産税	66,549円
 軽自動車税	2,030円
 町たばこ税	4,230円
 その他税	2,293円
合計	96,716円

町民一人当たり
約627,443円が使われます

町民1人当たりに使われるお金	
 消防費	48,128円
 教育費	65,076円
 災害復旧費	26,083円
 公債費	37,377円
 その他	5,224円
合計	627,443円
 議会・総務費	94,362円
 民生費	82,943円
 衛生費	50,442円
 農林水産業費	73,972円
 商工費	66,845円
 土木費	76,991円

一般会計予算7,417,000,000円÷11,821人(2月29日現在人口)=627,443円

平成16年度主な事業

生活

- ◆ 合併処理浄化槽設置補助金 24,660千円
60件分
- ◆ 集団検診委託 25,956千円

毎年5月から8月にかけて町内各地で行っている基本健診やガン検診の分です。

- ◆ 防災行政無線整備事業費 368,259千円
老朽化している無線の付け替え工事です(親局や中継局、個別受信設備など)。

農業

- ◆ 野菜価格安定資金補助金 8,781千円
野菜(トマト・白ネギ等)の価格保証制度です。認定農業者上積みあり。
- ◆ 中山間地域等直接支払事業 58,937千円

農用地の保全対策とあわせてムラづくりを推進します。

- ◆ 家畜排せつ物処理施設整備事業補助金 2,200千円
堆肥舎建設に対する補助金です。1棟分
- ◆ 低コスト肉用牛地域活性化事業補助金 17,047千円
畜舎建設に対する補助金です。新築6棟
- ◆ 畜産基盤再編総合整備事業補助金 80,810千円
- ◆ 森林整備地域活動支援交付金交付事業補助金 39,086千円
森林施策計画内の地域活動に対する補助金です。
- ◆ 生産基盤高度化緊急対策事業補助金 27,255千円
しいたけ生産にかかる施設・機械に対する補助金です。



▲町民ミュージカル朝日長者物語
この秋6年ぶりに復活です。

土木

- ◆ 緊急地方道路整備事業費 358,297千円
町道 路線分
- ◆ 道路新設改良事業費 175,848千円

教育

- ◆ 教育用コンピュータ入れ替え 27,459千円
中学校2校分
- ◆ 南山田小学校大規模改造事業費 6,000千円
設計費

観光

- ◆ 鳴子川溪谷及び周辺整備事業費 682,995千円

文化

- ◆ (文化センター) 自主事業 8,000千円
各種コンサートや舞台など5公演が予定されています。
- ◆ 50周年関連予算 5,871千円
町民ミュージカル朝日長者物語や記念大会などが計画されています。

凍結を申し入れ

〜 玖珠郡合併協議会

17年3月までの合併は不可能に



約130人の傍聴者が

「合併協議を凍結したい」。
3月5日、坂本町長が小林公明玖珠町長を訪れ、合併協議の凍結を申し入れました。

突然の表明に動揺が広がる中、緊急の合併協議会が3月17日、九重町役場で行われました。

この中で坂本町長は、「17年3月までの市制移行を目標に協議を重ねてきたが、休止・凍結をしたい。これまでの議論はなんだったか、ということになるが、このことについてはお詫びしたい」と正式に凍結の意向を表明しました。

「6回行われた協議会をみても、溝は深まる一方、最後は両町民も巻き込んでしまい、将来、合併できなくなるのではないかと心配している。今、冷却期間をおくべき。両町の合併に対するスタンス（姿勢）の違いも大きい」と坂本町長は凍結を決めた理由を説明。この時期に表明したことについては「莫大な経費のかかる電算事務の統合がひかえており、ムダになってしまう。またこの時点で（電算関連）予算を提案しても住民や議会の理解を得られない」。その上で、「両町が抱えている大型事業を完遂させるとともに、町民の理解を得ながら行政改革を行った上で合併すべきでないか」との考えを示しました。

これに対し、委員からは「また何も議論していないのになぜか。先送りするのではなく今取り組まなければならぬ問題なのに」や「スタンスの違いを感じるほど議論していない。議論を深める努力をせずに、いきなりやめたは理解できない」といった批判的な意見が玖珠町側から続出。会場は



再会の日は訪れるのか。

重苦しい雰囲気になりました。小林町長も「町のスタンスでなく、新しい市のスタンスで考えてほしい。合併特例法期限内の合併は郡民のためになる。前回の協議でホンネの議論が始まったと思っていたのに」と当惑の様子。「玖珠は聞く耳持たないと言うわけでない」という意見が玖珠側からでは、九重町側からは「対等合併だが（九重にとっては）吸収合併だ」と意見がかみ合わない場面が今回もみられました。

20分間休憩を持ち、両町委員ごとに集まり協議。再開後、九重町側は「今回の凍結は、いろいろな条件を考えた上での結論。（協議会を）条件の取引の場にしたくない。協議会を脱退したい」と表明。一方玖珠町側は「17年3月までの市制移行を一貫して町民に説明してきた。町民に説明する時間がほしい」。

結局今回の協議は物別れのかたちになり、閉会しました。
しかし、九重町側は、協議会終了後、今後の協議には参加しない意向を表明。玖珠郡合併協議会は、事実上、「空中分解」したかたちとなりました。

両町のスタンスの違いについてはこちらの記事を



まちづくり委員募集

九重町では、住民のみなさんが主役のまちづくりを進めています。住民のみなさんの力がさらにまちづくりに生かせるよう「町民が考える九重町町づくり会議」の委員を募集します。やりがいのある仕事です。あなたの力を貸してください。

対象は20歳以上。町政に対する積極的な参加意思があり、まちづくりに対する意欲がある方です。任期は2年。まずは、現在策定中の「九重町まちづくり基本条例（仮称案）」の審議に参加していただきます。

募集締切 平成16年4月26日（月）

募集人員 6名以内

お申し込み、お問い合わせは企画調整課（☎76-3807）までお願いします。

*まちづくり基本条例とは、住民参加のまちづくりのためのルールや住民と町の役割についてなどを定めたものです。

3/5

合併協の凍結を 九重町の合併を考える会が要望



▲要望文を読み上げる佐藤代表

「自分たちに対する問題は自分たちで解決するという、地方自治の原点を守るといふ意味においても、合併はすべきでないという結論に至りました」

3月5日、九重町の合併を考える会（佐藤博美代表）は、玖珠郡合併協議会の凍結を行うよう、町長と議長に要望書を提出しました。

要望書では、考える会のこれまでの取り組みを紹介した上で、「合併に対する両町のスタンスの違いが大きく、さらには、合併しても財政基盤の強化につながらず、将来に多大な負担を残す」ことから合併すべきでないという結論に至ったと記載。

この日、要望に訪れたのは約20人。坂本町長は要望書を受け取り、「合併について努力しているが、長くないうちに方向性を出したい」、また、安部議長も「近いうちに町長の判断が出ると思う。それを議会でも十分審議したい。みなさんの要望は議会に伝えたい」と要望書を受け取りました。

協議会の解散ではなく、凍結を要望したことに、この問題を考えるという意味が込められているし、合併そのものを否定するのではないという意見にも配慮したため」と話していました。

3/26

区長会でも 凍結の経緯を説明



年度末の区長会が3月26日、九重町役場で行われ、ここでも坂本町長は玖珠郡合併協議会凍結の経緯を説明しました。

町長は「スタンスの違いを乗り越えられなかったことが、凍結の原因。大型事業に対する考え方や行政改革への姿勢、対等合併の考え方に違いがあったほか、議員定数についても対立した。住民とともにこの問題を考えたこともあり、住民の合意を得られないまま話を進めるわけにはいかない」と説明。この時期に決断したことについては「協議を進めることに玖珠町との溝が深まってきており、住民同士にも溝ができてくるおそれがあり、電算（コンピュータシステム）統合など莫大な経費がかかる事業もひかえており、ムダになる可能性がある」。今後については「お互いの町の大規模事業を終え、行革を進めた上で合併すべき」との考え方を示しました。

これに対して、参加者からは「合併できなかった場合、サービスの低下が言われているが具体的に何か」といった質問がでたものの、凍結そのものについての異論はでませんでした。

九重町の一番長い日

鳥インフルエンザとのたたかい

2月17日(火)の午前、日本中に衝撃が走りました。「日本で2例目となる高病原性鳥インフルエンザ発生」の疑いがあり、発生源は、九重町の民家が愛玩用として飼っていた「チャボ」のニュースが流れはじめます。直後、役場へ報道機関などから問い合わせの電話が殺到。上空には何機ものヘリコプターが飛び騒然とした雰囲気……。九重町が一番長い日が始まります。



▲現場上空を飛ぶ報道機関のヘリコプター(2月17日午後3時頃)

② 喧噪 2月17日(火)、農林水産省からの「鳥インフルエンザ発生の疑いあり」の発表がないまま昼前からニュースが流れ始めます。町では緊急議長会を招集。住民に不安が急激に広がります。鳥インフルエンザの中でも特に死亡率が高いとされるのが「高病原性鳥インフルエンザ」。その時点では、確認されていませんでした。町では、対応を急ぎつつ「高病原性インフルエンザでないこと」を願いました。しかし、17時30分、今回発生したのは「H5N1亜型のA型インフルエンザ」。つまり「高病原性鳥インフルエンザ」と確認されると大分県知事が発表します。町ではすぐに防疫対策本部を設置(19:00)。19時30分には発生地から半径30km以内の移動制限措置を発令。同時に発生地付近の道路100メートルを遮断。報道機関各社も役場内や現場付近を断続的に取材。夕方からのニュースは、すべて「九重町で鳥インフルエンザ発生」がトップ項目に。対策本部は断続的に対応策を協議。被害の拡大を防ぐため町内で飼育されている鳥すべての現況調査と不安解消などを目的としたパンフレットの配布などを決定します。一分一秒を争う作業が続きます。その夜、役場の照明は消えることがありませんでした。

① 早かった対応 すべては2月14日(土)、チャボの飼い主から「突然3羽死亡した」という通報が役場にあったことから始まります。すぐに家畜保健衛生所へ連絡。解剖検査に入ります。第一報を聞いた坂本町長は「まさかうちの町に……3羽と一緒に死んだというのなら、もしかしたら大変なことに……」。その次の日、同じ鶏舎にいた4羽も死亡。「最悪の事態かもしれない……」。関係者に不安の色が濃くなっていきます。

2月16日(月)、ウイルス検査で鳥インフルエンザの疑いがありとの結果が、この日すでに鶏舎回りの消毒など感染拡大阻止の動きが始まっていました。県と町の対応は早かったと言えます。



▲第1回防疫対策本部会議(2月17日)

九重町に寄せられたメールから

鳥インフルエンザの発生以来、全国から九重町へ、数多くの励ましメールをいただきました。その中の一部を紹介します。

●鳥インフルエンザの発生はまさに晴天の霹靂、原因もよくわからないでは予防のしようもなく、大分県および九重町の皆様にはいつわい災難としかいいようのないものだとお察しいたします。しかし、すばやく公にしたその対応はすばらしかったと思います。町の方々に敬意を表し、事態が一日も早く収束することを願っております。●大分県はおるか、九州には縁もゆかりもない私が、今回このようなメールを差し上げたのは、あのチャボを飼っていたご家庭の皆様が気がかりだからです。とても個人の責任によるところがあるとはおもえません。なのに、大罪人のような冷たい視線に堪え忍んでいるのでは、と察じられます。きけば、あのチャボは卵からかえしたという話ですから、飼い主さんにとってはかわいいペットに死なれた悲しみにも耐えているわけです。この事件も関係者の方々が懸命に取り組んでいらっしゃるようですから、そのうち落ち着くでしょう。よけいなお世話かとは存じますが、飼い主さんへのご配慮も受けていただくことをお願いしたいと思います。●インフルエンザが発生したチャボを飼っていたお宅に嫌がらせや無言電話があ

ったとの記事を拝見致しました。早期の通報と情報公開は感染症対策にとって非常に重要であり、ひいてはその後の信用に大きく関係するということは、今までのBSF報道をみても明らかなことだと感じております。そういうことの意味が理解できない、一部の心ない人がいることがとても残念でなりません。●(飼い主の)勇気のある行為、私はとても素晴らしいと思っております。こういった勇気のある、そして消費者の立場に立った農家でぜひこれからは何があっても安全ですし、安心して食事をとることが出来ます。●新聞報道で、鳥インフルエンザが発生した鶏を飼っていた民家の方へ嫌がらせの電話がかかってくるという記事を読みました。早い段階での通報で、病気の蔓延が防げたのに、まったく理不尽なことだと思います。通報すれば、嫌がらせを受ける懸念は当然予想できたと思います。しかし事実を隠蔽したりせず、そうした懸念を誹り除け通報した民家の方の勇気は素晴らしいとおもいます。●去る2月21日に九重スキー場に出かけましたが、スキー場のレストランでは、普通通りに、地鶏つどんやおでんのタマゴが売られてました。町や県の迅速な対応のお陰で、みんな安心しているのだと思いました。ペットのチャボの死を隠さずにすぐに届けられたことと、その後の迅速・適切な対応のお陰で、私たちは安心して卵や鶏肉を食べています。本当にありがとうございました。



4 姉妹都市の
佐世保市からお見舞い。

4 苦しみ もう一つの大きな心配がありました。鳥インフルエンザを発病したチャボの飼い主（通報者）のことで、大騒ぎになってしまったことで「大変な迷惑をかけてしまった。通報しなかった方が良かったのでは」と大変苦しんでいました。誰がらせの電話をかかるとかのようなことも、そんなとき、全国から心やさしいメールが役場に届きます。また、玖珠町からも飼い主の方へと義援金が、町では「いち早く通報してくれたからこそ、拡大をくい止めることができています。そのことを理解してほしい」と訴え続けました。騒動が収まるにつれ、徐々に飼い主のもとへの励ましの電話が増えていきました。最終的には、50件ほどに。見ず知らずの人からの励ましの手紙も届いたそうです。飼い主は、「身体のことを心配してくれる人もいて、とてもうれしかった」。

3 広がる被害、不安 養鶏・鶏卵農家の被害はもちろん、風評被害の姿が現れてきます。翌2月18日（水）、町内の旅館・ホテルのキャンセルが125件・500人にのぼることが判明（最終的には343件・1802人）。早朝から断続的に対策会議が開かれました。その中で全戸調査などが決定。全職員が対応に当たること、職員を4地区に分け、さらに行政区ごとに担当を決めていきます。また、区長を通じた早急なパンフレットの配布も依頼することになりました。その間にも発生現場では畜舎の撤去や埋設作業が、さらには県境から入ってくる車両の消毒など、感染拡大防止に向けた徹底的な取り組みが続けられました。発生地付近の家庭への保健師による訪問があったのもこの日。発生の規模が小さかったこと、関係機関が迅速な対応をしたことにより、徐々に落ち着きを取り戻しはじめます。



3 マスクにも対応にも
進めました。

7 玖珠町・古後地区のみなさんからカンパが。



5 終息へ その後、鳥類を飼育している家庭への立ち入り調査や2度にわたる検査を経て2月28日午前0時、移動制限区域を5kmに縮小、そして最終的な自主検査を終え、3月11日午前0時、今回の鳥インフルエンザに関する制限が全面解除されました。ひとまず終息しましたが、今回のことは、九重町に大きな教訓を残したと言えます。そのひとつが、新たな危機管理体制の確立。これまで噴火や大雨などの自然災害に対する危機管理体制は整えていましたが、ウイルスに対する体制を整えることが必要になります。SARSなど新種のウイルスによる被害が広がっています。この町にもその被害が及ばないとは限りません。

関係機関の連携の大切さも再確認しました。飼い主の迅速な通報はもちろんのこと、関係機関の連携がうまくいったことで、早期の終息に向かうことが出来たことは、高い評価を受けています。

そして、忘れてはならないのが住民のみなさんの協力です。鳥類の全戸調査をはじめとして、多くの協力をいただきました。このことが計り知れない力となりました。

発生後、一時閉鎖された道にまかれた白い消毒剤は、わずかな路形を残すのみとなりました。道ばたに咲くスマイルは、何事もなかったように紫色の花を咲かせています。この町は、日常の風景を取り戻しています。



8 九重町でも
（3月15日）

卵は大分、温泉はやっぱり九重

宝泉寺温泉女将の会（佐藤武子会長）が3月12日、県庁を訪れ、広瀬知事に温泉でゆでた卵を差し入れました。この日は、鳥インフルエンザの移動制限措置が全面解除された翌日にあたり、これを機会に「九重町産の卵や鶏肉が安全であることをアピールしよう」というもの。

さっそく味見した知事は「やっぱり大分県産じゃなー。おいしい」。大分県産の鶏肉や鶏卵の安全性を伝えていくことも約束しました。女将の会はその後、大分市の中心部でゆで卵500パック（2個入り）を無料配布し、卵の安全性と宝泉寺温泉をアピールしました。



9 さっそく広瀬知事がパクリ

鳥の羽根で豊かな森林を守ろう



▲今回、配布を受けたうち、生亀地区では、16名が参加し、「生亀龍神」がある山肌にアジサイ260本・ヤマザクラやモミジ50本を植えました（3月7日）。



各地で緑の募金をもとにした森林の整備や緑化推進が進められています。その一環として、3月3日、九重町役場で緑化木の配布が行われました。今年配布されたのが、5つのグループにサクラやツツジ、アジサイなど962本。各グループは配布された木を持ち帰り、公園や道路沿いに植えました。交付式で坂本町長は「地域の緑化だけでなく、共同作業をすることで地域の絆も深めてほしい」とあいさつしました。

西日本一のブルーベリー産地化に向け順調な歩みが続いています。平成15年度末の植付面積は11.6ヘクタール。平成20年には九重町での「全国シンポジウム」も計画されており、栽培技術取得だけでなく、商品化に向けた取り組みの強化が求められています。その一環として、ブルーベリー栽培講演会と植付・剪定講習会が2月26日に行われました。

役場で行われた講演会では、藤巨峰ワイン代表取締役の林田伝兵衛さんと日本ブルーベリー協会副会長の横田清さんがブルーベリーの魅力などについて話しました。その後、場所を飯田高原に移し、植付と剪定の講習会。いずれも木の生長、果実の収穫に大きな影響を及ぼすとして、参加者の皆さんは真剣な表情で講習を受けていました。

西日本一に向け、足固め ブルーベリー講演会



放火による 火災の防止

もしも、自分の家に放火されたら……、
気をつけていても防ぎきれないのが放火
です。放火の傾向としては、冬から春先
及び夜間から明け方にかけて多く発生し
ています。

放火予防対策の基本は、住民が自ら放
火に対する危機意識を持ち、安全で住み
よいまちづくりを進めていくことです。
特に次の点に注意しましょう。

- 物置や車庫などは、外部から簡単に
進入出来ないように、カギを掛けまし
よう。
 - 車やオートバイのカバーは防災製品
を使いましょう。
 - 家の周りはいつも整理整頓し段ポ
ールなどの燃えやすいものは置かないよ
うにしましょう。
 - ゴミは決められた日の朝に出しまし
よう。
 - 家の周りには、外灯などをつけ明るく
しましょう。
 - 消火器や住宅用火災報知器などを備
えましょう。
- 以上のこと心がけ、地域ぐるみ、町
ぐるみで放火防止にとりくみましょう。

チームワークでつかった世界一



3月9日には町長へ優勝報告を行いました。



2月20日から23日までスコットランド・グラスゴーで行われた世界綱引き選手権大会480kg級で日本代表の大分コスモレディーズTCが見事金メダルを獲得しました。

このチームに九重町から参加しているのが、野中善賀子さん（見良津）、佐藤文子さん（川上2）。試合では、地元練習だけでなく、週3回の大分市での練習の成果を発揮。優勝経験は野中さんが3回目。佐藤さんは初めて。優勝が決まった瞬間、佐藤さんは「やったー!」。野中さんはぜったいに勝つと信じていたので「ホッとした」。その瞬間、2人は抱き合って喜びました。この喜びを最初に伝えなかったのは2人とも「一番支えてくれた家族に」。

大分コスモレディーズホームページ
<http://www.oct-net.ne.jp/~hide-mtt/>

コスモレディーズは、国内でも快進撃を続けていますが、選手の年齢は高め。ほとんどが40代です。それでも勝ち続ける理由を聞かれると監督がいつも答えるのが、「一人ひとりの選手の意識の高さ」。野中さんも「一人二人がスターになるのではなく、(選手)8人全員がスターになる」ことが綱引きの魅力であり、おもしろさだと話します。佐藤さんも「ロープを通じてほかの選手の動きが伝わってくる」。このチームワークを作ったことが優勝の一番の原動力となったようです。

世界選手権480kg級で参加したのは、イングランド・オランダ・アメリカ・南アフリカ・スコットランド、そして日本の6チーム。コスモレディーズは予選リーグを5戦全勝で突破。決勝リーグもイングランド・オランダをストレートで下し、2大会連続通算3回目の優勝を決めました。

シリーズ・
地域力
 Vol.6

心も戻ってくるむらに ~うるがの里相口

平成15年度の大分県農業賞むらづくり部門で「うるがの里相口」が優秀賞を受賞しました。相狭間・口の園地区をまとめる形でできたのが「うるがの里」。農を中心としたむらづくりが評価され、今回の受賞となりました。

地区の入り口の案内板やごみ収集箱。ジャンボ門松。女性グループ・やよい会による加工品作り、ひよっこ踊り、「どんど焼き」や「もぐらうち」「観月祭」などの伝統行事も継承……

この地区の元気を支えているのが婦人会や老人会、青壮年会、さらには地域づくりグループ(7団体)。これらが結集し、さらに充実した取り組みを行おうとできたのが「うるがの里相口」。



▲3月3日には、町長へ受賞の報告を。

このグループが今取り組んでいるのが「うるが水台」の公営化。地区の奥まったところにある景勝地で、地元が中心となり、植樹や道路整備を進めており、今後も散策道や展望台の整備などを計画しています。

「うるが」とは、モン



ゴルの遊牧民が使う杖、棒のことで、遊牧民が元の場所に戻ってくるため地面に目印をつけたことから「元に戻る。循環する」の意味も、整備が進められている。うるが水台も「水が戻る場所」。

うるがの里相口代表の佐藤金光さんは「無理せず継続して活動していきたい」と話していました。

地域力がひとつになったこの取り組み。地元だけでなく、ここを訪れた人も、なつかしい(心が戻る)場所となる取り組みが続いています。



うるが水台付近



ボ子様

予防注射通知の
ハガキを
お忘れなく

狂犬病予防注射を 受けましょう

保健

犬の登録について

新しく犬（生後90日を越えた犬）を飼ったときは役場で登録してください。一度登録すると、それ以後登録の必要はありません。※5月の集合注射（健康カレンダー記載）の会場でも登録の受け付けをします。

狂犬病の予防注射について

5月から町内各地で行われます。狂犬病の発生を防止するため、予防注射は毎年1回必ずしなければなりません。

登録内容の変更について

犬の死亡や登録事項（所在地・飼い主等）の変更があったときは、役場で手続きを行ってください。

見分できることになった犬・ネコの譲渡制度が新たに設けられました。犬・ネコを譲りたい方・ほしい方は保健所へ届け出てください。月に2回子犬の譲渡会も実施しています。



犬の放し飼いは禁止されています。楽しく犬と暮らすために、愛情と責任を持って飼いましょう

犬の散歩をするとき、 犬のフンは飼い主が始末しましょう

犬の散歩は、人も犬も気持ちがいいものです。

あなたは犬の散歩のとき、フンの始末をしていますか。あなたが気持ちいい散歩も、フンがそのままでは他人には不快です。

気持ちいい散歩にするために、また、美観を損なわないためにも犬のフンは飼い主が持って帰しましょう。



簡単なフンの始末の仕方



こんな犬は予防注射前に 獣医さんにご相談下さい

- ・最近元気がない犬
- ・病気の犬 ・老犬
- ・過去予防注射のアレルギーがあった犬
- ・最近赤ちゃんを産んだ犬

動物由来感染症の予防

過剰なふれあいは控えましょう
動物にさわったら必ず手を洗いましょう
動物の身の回りは清潔にしましょう
動物のフンや尿は速やかに処理しましょう
室内で鳥など飼育するときは換気を心がけましょう
砂場や公園で遊んだら必ず手を洗いましょう

問い合わせ先

日田玖珠保健所玖珠支所 ☎72-1150
九重町保健センター ☎76-3838

相談先

日野家畜診療所 ☎76-2155
翁長家畜医院 ☎77-6620

町の総合健診が5月から始まります

九重町では、基本健康診査をはじめ、がん検診（肺・胃・大腸・乳・子宮・前立腺）、骨粗鬆症健診を実施します。5月から10月まで、19日間実施します。日時は健康カレンダーに記載していますのでご覧ください。

検査内容や受診の申込など、詳しいお問い合わせは保健センター（☎76-3838）までお願いします。

【料金】

健康診査名	受診者の負担金		健診給費用額 (健康保険が適用される時)
	69歳以下	70歳以上	
基本健康診査	1,300円	無料	4,980円
結核検診	200円	無料	730円
胃がん検診	1,000円	無料	4,330円
子宮がん検診	900円	無料	3,970円
乳がん検診	1,000円	無料	4,670円
大腸がん検診	700円	無料	1,820円
前立腺がん検診	2,000円	2,000円	0円
肺がん検診（40歳以上）	無料	無料	610円
唾液結核診	1,200円	無料	3,110円
骨粗鬆症検診	1,000円	1,000円	500円

介護保険住宅改修の施行事業者に登録制度を設けました



介護保険で出来る住宅改修は20万円を上限として対象金額の9割が支給されます。

今までは、被保険者が一旦費用の全額を事業者

に支払った後、9割分の支給申請を保険者（九重町）に行っていました。平成16年7月からは登録事業者が行った工事で対象部分は、1割分の負担だけで工事が出来るようになります。

介護保険住宅改修登録事業者を募集します

法人の場合は玖珠郡内に事業所を有する事業者、個人の場合は玖珠郡内に居住している人が対象となります。

受付期間

平成16年5月31日(月)まで

登録申請書は九重町役場保健福祉課にあります。

詳しいことは保健福祉課介護保険係（☎76-3802）

までお問い合わせ下さい。

介護保険で出来る住宅改修Q & A

介護保険から住宅改修費の支給が受けられます

Q どんな人が対象になるの？

A 介護保険の要介護認定で、要支援・要介護1～5と認定された人が対象となります。

Q いくら支給されるの？

A 要介護度にかかわらず、支給限度額を20万円として、住宅改修に要した費用の9割が、介護保険から支給されます。利用できるのは原則として、現在の住まいについて1回です。

Q どんな改修が出来るの？

A ① 手すりの取り付け ② 段差の解消 ③ 滑り防止、移動の円滑化などのための床又は通路面の材料の変更 ④ 引き戸などへの扉の取替 ⑤ 洋式便器などへの便器の取替 ⑥ ①～⑤の改修にともなって必要となる工事

継続は健康なり

～生活習慣病予防学習会

町内の健康づくりグループが集まった生活習慣病予防学習会が3月3日、保健福祉センターで行われ、約70名が参加、交流を深めました。参加者の健康チェックを行った後、開会。当日参加した7グループの紹介、意見交換が行われた後、大分医師会立アルメイダ病院内分泌科部長・瀬口正志さんの講演「生活習慣病と運動」がありました。

町内の健康運動グループは、保健センターが把握しているだけで、14グループ（295名）があります。



意見交換では「健康づくりを始めて近所の人から明るくなったと言われた」などの話が出ていました。

すばらしい花を咲かせよう

～町内小学校で卒業式



◀保護者のみなさんは、涙、涙、涙です。

町内にある小学校の卒業式が、3月23日から24日にかけて行われました。

このうち東飯田小学校は24日に行われ、25名が学舎を後にしました。式では卒業生が、1年生の時の思い出を言葉にし発表。その後、松永剛校長が卒業証書を児童一人ひとりに手渡し、「将来、大きな花を咲かせるためには、中学・高校時代が大事。つらいことや悲しいことがあるかもしれないが、それはきっと肥料になる。すばらしい花を咲かせるために、立派な根っこをはってほしい」と卒業生を激励しました。在校生や先生、保護者も暖かい言葉や歌で、25名の新たな出発を祝いました。

町内では、3月4、5日に中学校の卒業式が、3月18日に幼稚園の修了式、そして3月26日に保育園の卒園式が行われました。

平成16年度九重町教育行政基本方針

※平成16年度スタートの記事(2ページ)とタブの部分には省略しています。

◇「基礎・基本の徹底」と

「生きる力」を育む学校教育

①「基礎・基本の徹底」をはかるため、児童生徒の学力の実態把握に努め、実態に応じたきめ細かな指導などの創意工夫を行い、基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指します。さらに、各学校での「総合的な学習の時間」を中心に学校外の人材や地域の教育資源も積極的に活用し、子どもが自ら考え、行動する機会を与え、困難な問題を自らの力で解決していく、より確かな「生きる力」の育成に努めます。

②児童・生徒の不登校、非行等の問題行動については、学校における指導体制の充実・強化はもとより家庭、地域との連携を密にしながら適切できめ細かな対応を行うと共に、非行等の未然防止に努めます。学校の危機管理対策については、「地域ぐるみの学校安全管理推進モデル事業」の委嘱を受けた

南山田小学校での成果を各学校における危機管理対策に十分還元されるよう指導してまいります。

③完全学校週五日制の実施は、ゆとりある教育のもとで、家庭や地域での生活の中から子ども達の「生きる力」を育み、健全な成長を促すことがねらいです。青少年健全育成協議会やPTA等の諸団体へ働きかけながらこのような実践活動を支援します。学校施設の利用についても、各学校に管理指導員を委嘱し、学校機能の有効活用を促進します。

④学校における入権・同和教育は教育委員会が策定した「学校における入権・同和教育の基本方針及び留意事項」を基本に、「地区を語る取り組み」の早期実施を図ります。計画の推進に当たっては入権授業時間の確保や総合的な学習の時間の積極的な活用を図るなど、全ての教育活動を通して入権・同和教育に取り組みます。また、PTAへの啓発活動にも力を注ぎます。

⑤町内の児童・生徒数は減少傾向にあります。町内には、何らかの統廃合を経て小学校7校(内分校1校)、中学校4校がありますが、今後の児童・生徒数の推移、学級の編制基準、専科、加配等を含めた教職員数、その他教育を取り巻く諸問題を研究、協議する内部検討会を設置しました。今後における学校の在り方等を模索・検討してまいります。

⑥外国語指導助手(ALT)は、これまでと同様、中学校における英語授業の助手としての任務はもとより、校内行事等での教

職員、生徒との交流を促進し、併せて町内で開催される各種イベントへの積極的な参加を通して国際交流にも貢献します。⑦学校給食は、衛生管理に万全を期すと共に、引き続き地産地消の観点から地元産の安全で新鮮な食材の確保に努めます。また、毎月開催される「学校給食献立委員会」に保護者の参加を促し、給食センターの献立に対する基本的な考え等、食教育の面からの指導支援に努めます。

◇生涯学習社会に対応した

社会教育の推進

①町民各層の自らの学ぶ意欲とニーズに応じ、「いつでも、どこでも、だれでも」が、生き甲斐のある人生を創造できる生涯学習基盤の整備や学習機会の拡充に努めます。②社会教育振興のため生涯学習センター、地区公民館を中心に、各種リーダーの養成・家庭教育・青少年教育・高齢者教育・女性教育・文化芸術等にかかわる各種展示会や講座などの各種事業の充実強化に努めます。③国際社会に主体的に生きる日本人としての資質の向上を図るために、国際交流事業を推進します。

④「このえ女性プラン」に基づき、男女共同参画社会の実現にむけた女性行政の推進に努めます。⑤文化ホールを活用した事業の推進を図り、町民の芸術文化に対する意識の高揚に努めます。⑥文化センターの図書館等の整備充実をはかり、利用促進に努めます。⑦情報通信技術(ICT)革命の恩恵を多くの町民が享受できるようにしていくため、広く町民を対象にした「パソコン教室」を引き続き開講し、町民一人ひとりの情報活用能力の向上を図ります。

⑧各地区青少年健全育成協議会及び、家庭・

地域社会との連携を図り、青少年の健全育成に努めます。⑨生涯学習推進のため「ふるさと人材バンク」を活用し、学び合い教え合う体制づくりに努めます。

⑩自治区集会所の建設推進と自治公民館としての活用促進を図ります。

◇文化財の発掘・

保存事業の推進

地域の歴史研究者や文化財調査員による調査研究活動により明らかにされた地域史や埋蔵文化財は、九重町の歴史を解明する上でのかげがえのない重要な資料であり、その保存・保護並びに活用にも努めます。

◇健康で豊かな生活づくりをめざす生涯スポーツの振興

いつでも、誰でもが自己の適性や健康状態に応じた体育スポーツができる諸条件の整備の構築に努めます。

①町体育委員会の支援及び郡体育協会の育成・強化に努め、その協力を得て、「二人一スポーツ」の普及推進を図ります。②体育指導委員や指導者の確保・養成に努めます。

③「活いきランド」を体育・スポーツの拠点として、各施設を活用した各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催に努めます。④ホッケーの競技人口の増大を図るためホッケー教室を充実し、小・中学生の競技力の向上に努めます。⑤誰でも気軽にスポーツに親しめるよう、軽スポーツの普及推進に努めます。

⑥二丁目団体(平成20年)のホッケー会場としてふさわしい競技場の整備、並びに町民参加を基本にした推進に努めます。



▲野上中学校でのパソコン授業

図書館だより

ほんの森
4月号

図書館開館時間
平日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休み



新着本

0歳から7歳までのシュタイナー教育
ちびまるこちゃんの音楽用語教室
世界の食文化 2 <中国>
あたしのこと憶えてる
黒髪なギャングが地球を回す
バカの壁をぶちこわせ！正しい頭の使い方
妊娠力
姉闘
社員の幸せを追求したら社長も成果主義も不要になった！
影踏み

堀内節子
齋藤 孝
周 達生
内田春菊
伊坂幸太郎
日下公人
放生 勲
遠藤 徹
日下公人
横山秀夫

虹の集て村の秘密
夜盗
しごと。
体を温めると病気は必ず治る
原因と結果の法則
五木寛之の百寿巡礼 第3巻 ガイド版
リトル・バイ・リトル
看守眼
ファンタジスタ
電子の星
るるぶ九州おもしろあそび場ガイド '04
デルトラ・クエスト2 3<影の王国>

有栖川有栖
なかにし礼
乙武洋匡
石原結實
ジェームズ・アレン
島本理生
横山秀夫
星野智幸
石田衣良
エミリー・ロッド

花風、花信風、凱風、和風、光風、清明風・・・

これ全部「春の風」の呼び名です。

『風の名前』という題名に惹かれてなげなく読んでみたのですが、その名前のおもしろさにおどろきました。

春夏秋冬風の呼び方は様々で、季節にふさわしい意味の漢字や言葉が使われていました。日本人の、自然に対する繊細でこまやかな美意識に感心しつつ、表に出てみると、いきなり突風がー「春風だなあー」ここぞとばかりにつぶやいて、ひとり悦に入っていたのです。

※春風（しゅんぷう）＝春のつれ風。三つ巴の犬が風となって渡るさまが日に浮かぶ漢字で表しています。

紹介の本『風の名前』/高橋順子・文/佐藤秀明・写真/小学館=分類番号451(自然科学の類)

健やかでふれあいのあるまちを



「第11回福祉と健康と社会教育を考える集い」「第22回九重町社会教育振興大会」「第29回九重町社会福祉大会」が2月29日、九重文化センターで合同開催されました。今回のテーマは「健やかでふれあいのあるまちづくりのために」。開会行事で実行委員長の黒木桐人さんは、青少年をめぐる環境の悪化の背景には、地域社会の変化、人間関係の希薄化があるとし、その一方でモノを大切にできる心、我慢する心が小さくなっているのではと指摘。「関係機関が果たす役割を再確認して、一緒に明るい社会・明るいまちづくりをしていきたい」とあいさつしました。開会行事後には、健康グループ「楽健（たのけん）」のみなさんのステージが、このグループは「楽しみながら健康な身体と心を作る」ことを目標に結成。大分県健康なまちづくり大会では、県内約300のグループから2年連続最優秀賞に選ばれています。この日は、自ら考案した健康体操（衣装付）や会場と一緒に運動など楽しいステージが約30分繰り広げられました。その後、教育・心理カウンセラーとしてだけでなく不登校児らの相談ボランティアなどでも活躍している富田富士也さん（上写真）の講演「「運る家」をさがす子どもたち」があり大会は終了しました。

なお、この日は社会教育や社会福祉の分野で功労があった1団体36名のみなさんが表彰されました。



▲楽健のみなさんのステージ。その中の一人日野由紀子さん（野矢）は「めっちゃくちゃ緊張して」体役するよりも身が引き締まり、やせました。

美しいふるさとをうたに

福岡県太宰府市を拠点に童謡を作り続けている岩崎記代子さんの作ったCDが完成。3月3日、自身の主宰する童謡教室の生徒9人と一緒に来庁、町へCDを寄贈しました。岩崎さんと九重町のつながりは長く、特に菅原天満宮と太宰府天満宮の交流の橋渡し役として活躍しています。2枚目のアルバムとなる今回の作品、「五月の万年山シリーズ」と題され、全24曲。すべての曲で作曲と唄を担当しています。その中の一曲が「菅公様」。菅原天満宮の風景を美しい旋律で描いたもので、特に人気が高いそうです。九重町の人の良さにすっかり魅了されているという岩崎さん、「九重のうたが好評でとてもうれしい」。



建設が進められている鳴子川大吊橋の歌も作ってみたいと話していました。今回寄贈いただいたCDは、九重町図書館にあります。購入希望の方は、小田弘幸さん（☎78-9505）まで。



このえ 農業委員会 だより 9号

かけがえのない農地を守り
農家の良き相談相手に

九重町農業委員会
会長 高倉勉 八

農業委員会業務につきまして平素より多大なご指導とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

農村を取り巻く農業情勢は年々厳しくなり特にWTO農業交渉やFTA(自由貿易協定)交渉と関連して農産物価格の低迷、減反政策、米の買入れ制限と問題が山積しています。こうした中で農業農村は高齢化、兼業化、過疎化が進み農業の担い手後継者不足により、中山間地の遊休荒廃化の増加に直面しています。

農業委員会は農業者の代表として農地法等の法令業務、優良農地の保全、農地の利用調整、担い手の確保、認定農業者育成、農地の利用集積等農業経営の基盤強化を促進し、安定的な経営を進められるようにするのが課題であり使命、役割です。その為に関係機関や認定農業者に協力と支援を賜り活動してまいります。

農業委員会はこの度一月の農業委員の改選により公選十二人、議会推薦四名、農協 共済選出三名で新しくスタートしました。町並びに農家の皆様方のご協力により選出されたこと厚くお礼申し上げます。

農業委員が地域に密着した活動ができるよう引き続き地区担当委員制を定めましたので、農地に関する件については地区担当委員又は事務局に相談してください。

「かけがえのない農地を守り農家の良き相談相手に」行動する農業委員会を目標に全員一丸となつて努力する所存でございますので、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



農地のためのQ&A

Q・小作地を売りたいのですが、小作人以外には売れないのでしょうか？

A・売ろうとする農地が小作地である場合にはその譲受人が、その土地の小作人かその世帯員でないという原則として許可できないこととされています。しかし小作人が買い受けを承諾しない場合には、他の者に売ることについて小作人が書面で同意した上で、許可申請すれば許可できます。これは農地の権利移譲の機会を捉えてなるべく農地を自作化しようとしているからで、農地法が「農地はその耕作者自らが所有することが最も適当である」と法律の目的でうたっていることのあるからです。

委員氏名	電話番号	担当行政区
小野 敏彦	76-2191	上旦・下旦1~6・釣地区
平 猛法	76-2588	南恵良・富栄口・北恵良1~3・見良津・書曲1~3・恵良団地
吉武喜代子	76-3288	前辻1~2・川下北・川下南
日野 賢二	76-3356	川上1~2・後辻・竜門・田尻・野倉・中環
野上 光雄	76-3066	下右田・奥野1・物見塚・見附
高橋子工コ	77-6063	下右田・重原・中央1~5・青山通り・下尾本・尾本・甘川水
高自 勲八	77-6369	北区・南区・小久保・寺田・奥双石・中巢
岩尾 淨見	77-7228	田代・小迫・椋原・拓野・早家山・小平谷・野矢・滝上・寺床
宇佐 光徳	77-7515	猪牟田・茅原小野・桐木・盛伏・後野上・西
持松真寿代	79-3431	龍湯・日向・日向・湯坪下・狭間・奥郷
持松 芳泰	79-2522	中村上・中村中1~2・中村下1~2・狭約上・狭約下・下畑・釜の口・北方上・北方下
持松 祐八	79-2359	須久保・花牟礼・吉部1~3・旭・安川
馬場 隆之	79-2933	年の神・無田下・無田中・無田中1・無田上・九重山
木村 昭憲	78-8967	麻生約・菅原本村・桐木1~4・相狭間・口の園
小田 誌志	78-8530	宝泉寺・生尾・中坂・潜石・奥原
小田 敬幸	78-8626	串野上・串野下・榎屋
小野 重夫	77-6532	川西1~3・川東上・川東下・陣の内上・陣の内下・後河内・河内
清竹久美夫	78-8319	引治1~2・富迫上・富迫下・横尾・中村・黒塚盛・木納水
藤澤 美保	73-1005	川道団地・倉山・井手・田中・岩の上・粟野本村
農業委員会事務局		76-3805 熊谷 松本 時松



農業・農家のための情報満載 全国農業新聞を読みましょう
週一回発行 月額600円 申込は農業委員又は農業委員会事務局(TEL 76-3805)

まちの話

あきれたゴミの多さ

この日、燃えるゴミ用・空き缶用の
ゴミ袋合わせて150袋を準備しまし
たが、すべりつづいび。そのゴミの多
さだけになく、タイヤやチエ
ーン、温水器など捨て主の良
識のなさげうかがえるゴミが
次々と。昨年清掃して一年足
らずで、このゴミの多さで参
加者はおきれ顔。「ゴミは絶
対捨てるに持ち帰ってほしい」と
口をそろえていました。ま
た、草が生えただまほにしてお
くと、「ゴミがより捨たられや
すくなることか」と、「いつも
きれいにしておくといいことも大切
ですね。」

2月28日、栗野河原運動公園の清掃
が行われました。参加したのは、普段
運動でここを利用している人、地元ポ
ランテア、地元老人クラブなど約30
人。



交通安全

顔の見える活動をこれからも・・・



会長の吉富芳香さん。
「はんの何秒かを急ごうとする
気持ちが事故につながることを
特に気をつけています。」

女性の立場から交通安全活動に取り組
む玖珠郡女性ドライバー協議会が県の「女
性ドライバーコンクール」で優秀賞を受
賞。2月9日に表彰式が県庁で行われまし
た。このコンクールは、県内の18の
女性ドライバー協議会が参加。昨年の前
半と比較し、後半にどれだけ事故が減っ
たかなどのほか、日ごろの活動内容など
が審査対象となります。同会は、タレント
の穴井夕子さんを招いての交通安全大
会、毎月第2火曜日の女性ドライバーの
日での街頭キャンペーン、さらには安全運
転を誓い合う寄せ書きなどの活動が評価
され、受賞となりました。



▲会員のみなさんの「交通安全への寄せ書き」

会長の吉富芳香さんは「受賞は関係機関をはじめ、住民のみなさんのおかげと思っ
ています。みんなにありがとうと言いたいです」。授賞式のときに言われた「顔の
見える活動」を今後も続けていきたいと話していました。



優良運転者表彰(20年以上・15年以上)申請のお知らせ

* 受賞資格

大分県交通安全協会玖珠支部の会員(運転免許更新時に協会費納入の方)であること。
運転免許取得後、現に自動車の運転に従事しており、下記の要件を満たす方。

1. 自動車等の運転歴が6月1日現在で20年以上(15年以上)
2. 15年表彰(9年または10年表彰)を受賞済みであること
3. 過去20年(15年)以内に交通事故の当事者として刑事処分を受けたことのない方
4. 過去15年(10年)以内に交通関係法令違反により刑事処分を受けたことのない方
5. 過去10年以内に交通違反により告知されたことがない方
6. 人格円満にして業務に精励し、他の自動車運転者の模範と認められる方
()内は15年表彰

* 申請受付期間・場所

20年以上 5月30日まで 15年以上 6月30日まで
玖珠警察所管内の交通安全協会窓口

* 申請に必要なもの

運転免許証・印鑑・証明申請料700円・安全協会会員証

問い合わせ 交通安全協会玖珠支部事務局(☎72-1661)

平成16年町内地区別交通事故発生状況(県計、県地)

地区別	人身事故		物損 事故	件数 計
	死者	負傷者		
東飯田	0	0	12	12
野上	0	6	24	29
飯田	0	14	91	101
南山田	0	6	29	34
計	0	26	156	176

(平成16年3月末現在)

くらしの情報

平成16年度銃砲刀剣類登録審査会

日時 いずれも水曜日です。

5月12日、7月14日、9月8日、11月10日、1月12日、3月9日

時間は、10:30～16:00(ただし12:00～13:00は昼休み)

場所 大分市大手町 県総合庁舎6階61会議室

会場には現物と発見届出済証・登録手数料(1件6,300円)を持参してください。代理人でもけっこうです(ただし家族以外の代理人は委任状が必要)。

登録証を紛失した場合は、登録証の再交付を受けなければなりません(手数料1件3,500円)。

未登録物件の所持・売買はできません。

お問い合わせ 大分県教育庁文化課

☎ 097-536-1111(内線5496)

平成16年度 県民すこやかスポーツ祭久大地区大会

種目	開催市町村	日時	参加要件
ゲートボール	玖珠町	5月9日(日)	年齢制限なし
グラウンドゴルフ	中津江村	5月9日(日)	年齢制限なし
ミニバレーボール	日田市	5月16日(日)	年齢制限なし
ターゲットバードゴルフ	九重町	5月16日(日)	年齢制限なし
ビーチボール	前津江村	5月16日(日)	年齢制限なし
フォークダンス	九重町	5月16日(日)	年齢制限なし
ソフトバレーボール	天瀬町	5月30日(日)	18歳以上

このほかの種目もあります。

チーム編成などの参加要件がある種目があります。

参加料は無料です。申込締切4月28日(水)。

*フォークダンスは当日申込可。

お問い合わせは、生涯学習センター(☎ 76-3888)まで

鳥インフルエンザについて

鶏肉・卵の安全性について

鶏肉や鶏卵を食べることで人に鳥インフルエンザが感染したという事例の報告はありません。

* 鶏卵を生で食べても心配ありませんが、不安な方は加熱することをおすすめします。

* 鶏肉は十分加熱して食べてください。未加熱や加熱不十分なまま食べることは、食中毒予防の観点からおすすめできません。

人への感染について

鳥インフルエンザは人から人にうつったことが確認された例はありません。鶏のフンや内臓にふれた手を介して、人の体内に大量のウイルスが入ってしまった場合に、ごくまれにかかることが知られています。

大分地方法務局日田支局における 商業・法人登記事務のコンピュータ化について

大分地方法務局日田支局では、平成16年5月10日(月)から商業・法人の登記事務をコンピュータにより取り扱います。これまでの登記簿原本・抄本、資格証明書の発行及び登記簿の閲覧に代わり、登記事項証明書、代表者事項証明書及び登記事項要約書を発行することとなります。

また、同日から商業・法人登記について「登記情報交換システム」を導入することとなり、このシステムを導入している全国の登記所(大分地方法務局管内では、本局登記部門及び別府出張所)の商業・法人の登記事項証明書及び印鑑証明書が日田支局から入手できるようになります。

お問い合わせ先

〒877-0025 日田市田島2丁目11番46号

大分地方法務局日田支局 ☎0973-22-2719

大分県女性就業サポート事業技術講習会

平成16年6月22日(火)～7月23日(金)

10:00～16:00

(土・日・祝日は除く、7月1日、2日は休講)

講習内容 医療事務(医科)2級

受講料は無料。ただし検定試験受験料、テキスト代等は自己負担。

対象 再就職を希望する女性で、全日程出席可能な人(定員20名)

申込日時 平成16年5月11日(火)・12日(水)

10時から14時、直接申込会場へ

申込会場 大分市東春日町1-1

N S大分ビル2階会議室

お問い合わせ ちふん就業サポート室

(☎ 097-514-5411)

飼っている鳥が連続して死んだら

鳥を飼っている方は、清潔な状態で飼育し、ウイルスを運んでくる可能性がある野鳥が近くにこないようにし、鳥の排せつ物にふれた後には手洗いうがいをしていただければ、心配する必要はありません。また、原因が分からないまま、鳥が次々に連続して死んでしまうことがない限り、鳥インフルエンザを心配する必要はありません。原因が分からないまま鳥が連続して死んでしまったという場合には、その鳥に素手でさわったり、土に埋めたりせず、なるべく早く役場に連絡してください。

放置された家さん等愛玩鳥を見つけた場合

役場に連絡してください。(☎ 76-3804)

野鳥が死んでいた場合

役場に連絡してください。(☎ 76-3804)

今月の納税・玖珠九重 農協旧支店収納窓口対応日

納付月

農協旧支店対応日

対応時間

4月

4月30日(金)

9:00～15:00

ボーイスカウト新団員募集 きみもなかまに！ 今、新団員を募集しています。

ボーイスカウトは、自立心のある健全な青少年を育てる世界的な社会教育運動のひとつです。少年たちの好奇心や探求心にこたえる活動を通して、心身ともにバランスのとれた人格の形成をめざしています。

野外活動を通して、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。土曜日の午後や休日に集まって、工作やゲーム・歌・演劇などの活動、手旗やロープなどの練習、キャンプ生活の基本を勉強します。春休みや夏休みには長期キャンプがあります。

対象 町内の小学校4・5・6年生（男・女）

費用 月500円程度（当初は制服・用具代が必要）

入団方法 所定の「申込書」に必要事項を記入の上、ボーイスカウト玖珠第3団隊長・森昌哉さんのところまで提出してください。

お問い合わせは、生涯学習センター（☎76-3888）または森昌哉さん（☎73-5515）まで

多くの子どもの応募を待っています！

「えせ同和行為」に注意！

「えせ同和行為」とは 同和地区の関係者を渡ったり、いかにも同和問題を解決しているように見せかけて、何らかの利権を得るために、企業などに「ゆすり・たかり」等の不当な行為によって高価な商品等売りつける行為です。

要求の種類

1. 図書等物品購入の強要 76.9%
2. 寄付金・賛助金の強要 10.1%
3. 広告記載の強要 4.4%
4. その他 8.6%

「えせ同和行為」の排除

私たちは、まず同和問題を正しく理解することが大切です。えせ同和行為に安易に応ずることが「えせ同和行為」をはびこらせるだけでなく、結果的に同和問題の解決を遅らせる、との認識をもって対応することが必要です。

対応の際の心構えとしては

1. 不法・不当な要求は、断固拒否する。
2. 終始一貫、毅然とした態度で対応する。
3. 相手の要求内容を的確に把握する冷静さを保つ。
4. 相手の話（電話）を長々と聞かない。

えせ同和行為でお困りの場合は、町または最寄りの警察などにご相談ください。

九重町人権・同和対策室（☎76-3825）

玖珠警察署（☎72-2131）

第1回家族介護者公開介護教室

日時 平成16年5月8日（土）13:00～15:00

講師 大分ゆふみ病院看護師長 後藤隆子さん

テーマ 「ホスピスケアについて」

*ホスピスケアとは「その人がその人らしい生を全うすることができるように援助すること」です。

場所 大分県社会福祉介護研修センター

（大分市明野東3丁目4-1）

参加料は無料です。

申し込みは

大分県社会福祉介護研修センター

TEL. 097-552-6888 FAX. 097-552-6868

労働保険料の申告・納付は 5月20日までに

平成16年度の労働保険（労災保険と雇用保険）の年度更新手続きは5月20日までです。

労働者を雇用している事業主の方には「労働保険概算・確定保険料申告書」を郵送していますので、早めにご手続をお願いします。

お問い合わせ・ご相談は大分労働局総務部労働保険徴収室（☎097-536-7095）まで

国民年金には 学生納付特例制度があります。

国民年金制度では、日本に住んでいる20歳から60歳までのすべての方が加入し、保険料を納めることになっています。

学生の方については、「学生納付特例制度」があります。これは、本人の前年度所得が68万円以下の場合、届出をして承認されれば、在学中の保険料の納付が猶予される制度です。その後10年以内であれば保険料をさかのぼって納めることが可能となります。

また、期間中に不慮の事故や病気により障害が残ったり、死亡となった場合には、障害基礎年金または遺族基礎年金が支給されます。

対象となる学生は

大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校などに在学する学生。

※平成14年4月からは、夜間・定時制課程や通信制課程の方も対象になりました。

手続きは

年金手帳と学生証等をお持ちになって、九重町役場保健福祉課（☎76-3802）で手続きを行ってください。なお、手続きは毎年必要になります。

今月の 年金相談

日時 4月28日（水）10:00～15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

【国民健康保険税】

納期限 4月30日

幸せになるひびね

人権 心の扉 No.107

在日韓国人の人で、高史明（韓国名でゴ・サミヨン）という方がおられます。高さんには連れ合いの岡百合子さんとの間に、中学生になった一人っ子の息子さんがいました。今から二十九年前に自ら命を絶ち、永遠の大地に帰っていきました。作家でもあった高さんは、その後、百合子さんと二人で、残されたたくさんの詩を一冊にまとめ『ぼくは十二歳』という詩集を出版されました。そこに綴られた詩篇の一つに、このような詩があります。

じぶんじしんの／のうより
／他人ののうの方が／わか
りやすい／みんな／しんじ
られない／それは／じぶん
が／しんじられないから／

高さんは、このような孤独の中で死を選んだ息子さんのことを、深い悲しみと後悔の念を持って、後にこのように話されています。

「私は、中学生になった子どもに次のようなお祝いの言葉を贈りました。『今日から君は中学生だ。これからは他人に迷惑をかけず、自分のことは自分で責任

贈る言葉

社会人権・同和教育指導員
高藤 英 利

を取りなさい。それができるならば、お父さんはこれからいっさい君に干渉しないことにしよう」と。しかし、一見、人間としての当然の在り方であるこの言葉で、私は自分の子どもが友だちや周りの多くの人たちと持っていたであろう、深いいのちのつながりというものを削り落としてしまったのではないか。そのことが子どもを孤独にしまったのではないか。

いか。

高さんはそう振り返りながら、さらに今ならこんな言葉を贈りたいと言われました。

「君は今日から中学生だ。ここにくるまでにどれほどの人に迷惑をかけ、助けをいただいていることが、人間だけではない、どれほどの多くの生き物の助けをいただいていることが、いまこそ、それをしっかりと知ってほしい。それこそが自分で責任をとることの始まりになるのだ。人に迷惑をかけるなどいう前に、いかに多くの迷惑をかけ、助けを受けて今日自分が生きているかを知ってほしい。そのことが自分に責任を取るということなんだ」と。

この春、不安と希望を胸にそれぞれの学び舎を旅立っていく皆さんに、心からこの高さんの言葉を贈りたいと思います。

＝平成16年4月・5月休日当番＝

病院	月	日	医療機関名	住所	電話
病院	4月	18日	井上 医院	恵良	76-2711
			北山田クリニック	北山田	73-2030
		25日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330
			武田 医院	森	72-0170
		29日	小中 病院	塚脇	72-2167
	5月		飯田高原診療所	飯田	79-2138
		2日	後藤内科医院	昭和町	72-0676
			矢原 医院	野上	77-6121
		3日	高田 病院	春日町	72-2135
		4日	長内科小児科産婦科医院	春日町	72-2143
		麻生消化器科内科医院	山田	72-7100	
5日		三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101	
	友成(町田)医院	町田	78-8811		
	9日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127	
	16日	井上 医院	恵良	76-2711	
		北山田クリニック	北山田	73-2030	

歯科	月	日	医療機関名	住所	電話
歯科	4月	18日	伊藤 歯科医院	日田市	0973-24-5700
		25日	樋口歯科クリニック	日田市	0973-22-8881
		29日	たしろ 歯科医院	塚脇	72-3838
	5月	2日	武内 歯科医院	日田市	0973-22-3034
		3日	アベックス 歯科	日田市	0973-22-0075
		4日	玉井 歯科医院	恵良	76-2018
		5日	北山 歯科医院	大山町	0973-52-3553
		9日	おおくら 歯科医院	日田市	0973-22-0222
		16日	アップル 歯科医院	日田市	0973-24-7710

獣医	月	日	獣医師名	電話
獣医	4月	17日・25日	佐藤 獣医	77-6448
	5月	2日・5日・15日・23日		
	4月	24日	山本 獣医	78-9101
	5月	1日・4日・9日・22日		
	4月	18日・29日	甲斐 獣医	76-3324
	5月	3日・8日・16日		

スタンド	月	日	店名	月	日	店名
スタンド	4月	25日	小幡 石油	5月	9日	河野 石油
	5月	2日	自由 営業		16日	竹尾 石油

備考 大分県中西部農業共済組合 電話 3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-6721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は 119 番 ☎ 72-2141 ● 火災の確認は ☎ 72-5100

農時記

季節

5月

「燕」

「苗代・田植・植田」

5月

「梅雨」「万緑」

「十薬」

(5月25日締切)

今月の季節

「卒業又は入学」「桜(花)」

涅槃像浮かびて盆地霞けり
先輩のボタン挽ぎって卒業日
ランドセル踊るがごとく入学児
花見かなグラスにひらりもう一杯
春かすみ万年の山々横たわり
夕霞拝む彼方に道祖神
入学式服お揃いの双子ちゃん
初孫や早や十八の卒業式
咲きみちし花の息吹の中にあり
花賞でて簾に笑顔のもどる朝
花吹雪よちよち歩き孫の手に
桜咲きコントラストの空の青
佳き日なり父と母にて桜植ゆ
自衛隊平和もとめて花満開
花の宴交わす方言珍珠詠り

「涅槃像浮かびて盆地霞けり」阿蘇谷の春の風物詩「先輩のボタン挽ぎって卒業日」先輩の形見が欲しい。挽ぎつてに実感。「ランドセル踊るがごとく入学児」一年生はそのとおり。「花見かなグラスにひらりもう一杯」もう一杯欲しいはず。どの句も春爛漫。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係まで応募を。なお、応募作品は返却しません。

伊東 匡子
原田 勝子
玉井多喜子
湯浅加代子
甲斐 和子
原田 孟一
赤峰 幸子
佐藤 修正
清竹 秀蔵
佐藤 節代
穴井久美子
藤澤 節子
的場 律柱
佐藤 元八
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 118

干支のはなし(1)

九重町文化財調査員 内恵克彦

歴史の勉強をしていると、よく日本の年号と西暦の関係、そして干支(エト)とのつながりに頭を悩まされる事があります。この年号と干支の関係は実に重要であり、年号は天皇が代わったり、将軍が代わったりすると変更されますが、干支は古代より変わる事なく連続と続いて、間違える事無く使用されてきました。今私達が文化財の調査などしている時、この干支と年号が重要な意味をもっていることに気づきます。文化財における記年銘などは、そのものの建設年代をあらわすだけで

はなく、その地域の歴史解明に大きな役割をはたす場合が往々にしてあります。

日田市隈町の専念寺中庭にある、南北朝時代の銘をもつ層塔は、非常に珍しい形をしたものですが、塔身の一面に刻まれた銘文は「貞和三年戊子二月十五日」(一三四七)とあります。この干支と年号には、一年のずれがあります。

造立当時に刻まれたものであれば、まず間違える事はないと思われまゝ。さらに塔を見ますと、各部分の石質などにかなりの違いも見られます。これらのことから、この塔は後に寄せ集められたもので、銘も後刻であろうと考えられます。

九重町野上南区の野上下墓地に、宝篋印塔があります。宝篋印塔は、鎌倉時代より日本で作られるはじめ、中世を通じて多くの遺品が、日本中に残されています。この塔の墨書銘に「□□□念一歳甲午二月」とあり、□の字は薄くてよく見えません。記年銘の場合の最初の一字は、「皆」や「干支」と書いて「とき」という字が多いので、この一字でしよう。次の年号分は、下に「念一歳」とあるので、

二十一年ということですが、年号や日付の表記にはよく「初九には「初」の字を付け「初三日」などと表し、十、十九を表す「中五日」、二十、二十九を「念三年(又は日)」などと表します。

さて日本の年号で、二十一年以上続いたのは、鎌倉時代以降安土桃山時代までには三回しかありません。正平年間(南北朝時代、一三四六～六九)、応永年間(室町、一三九四～一四二七)、天文年間(同、一五三二～一五四四)の三回で、この中で二十一年が甲午(キノウウマ)の年にあたるのは、応永二十一年であり、これから残りの不明二字は「応永」であることが判ります。

このように干支が判れば、不明な年号の中で「二」字わかれば本体が判明することが多いものです。



野上下墓地宝篋印塔

●宝篋印塔(ぼうくわいんとう)は墨書印(すみかきいん)を納める塔。後には供養塔・墓塔として建てられた(正保社より)

人の動き

弔慰

お悔やみ申し上げます

おなまえ	年齢	行政区
矢野サエタ	81	日向 下
永吉シズ子	89	川西 一
佐藤ヒサエ	78	串野 上
吉武 讓治	50	前辻 一
工藤 西義	82	川東 上
矢幡トミコ	80	寺田
有吉 公成	34	狹野 上
矢野 廣	90	宝泉 寺
加藤ムツエ	77	川上 一
有吉 瑛錦	82	中村中 一
佐藤 光明	58	南区
甲斐 輝尊	98	北方 上
内惠美枝子	80	下旦 六

3月1日～3月31日届出分

(敬称略)

人口と世帯

人口 11,780 人 (-41)
 男 5,619 人 (-31)
 女 6,161 人 (-10)
 世帯 3,894 (-4)
 () は前月との増減

おめでとうございます

出生

おなまえ	性別	保護者	行政区
佐藤 匡介	男	啓伍	南区
清竹 心春	女	露二	川西二
榎原 新汰	男	昭浩	中央四
佐藤 匠悟	男	辰次	瀬石
百田 菜月	女	誠	中 巢

町営住宅 入居者募集のお知らせ

募集住宅 町営恵良住宅4戸
 (高齢者世帯向け用)
住 所 九重町大字松木5353-1
申込期限 平成16年5月10日(月)
問い合わせ・申込先
 建設課計画管理係 (☎ 76-3811)

5月12日(水) 筋湯温泉祭り

5月8日(土) 釜の口温泉祭り

4月29日(祝) スプリングフェスティバル
 問い合わせ 町田バーネット牧場
 ☎ 78-19446



町長と語る ふれあいタイム

5月 8日 (第2土曜日)
 5月 22日 (第4土曜日)

5月のお知らせ

午前10時から午後4時まで。
 九重町役場で行います。
 お気軽においでください。

平成16年度人材育成事業

平成16年度人材育成事業の募集が始まりました。募集締切は5月11日(火)です。詳しいお問い合わせは生涯学習センター(☎ 76-3888)まで。

編集後記

感情がこもった発言のほうが、相手の心の中に入る。同じ言葉でも、感情をこめるとこめないのでは、聞き手にとっては、まったく印象が異なるんです。(作家 米原万里さん) ●毎年4月号は、施政方針を紹介しています。大事なことがたくさん書かれているのですが、なかなか読んでもらえない。そこで、なるべく読みやすいように全面的に書き直しました。町が議会などで公表する「施政方針」を読むことから書き直しの作業は始まります。そのとき、あらためて思ったのですが、九重町のまちづくりのキーワードは、住民の力。特に今年はそれが強く出ていくように感じました。文章にもっとと感情を込めて、あちこちから、住民の力がわくわくとわいてくるようなものを書き直してみました。●8ページからの記事にあるように、玖珠町との合併話が暗礁に。理由はいくつかあるのですが、ひとつ言えるのが、住民自治がダメになってしまうのでは、という危機感が住民の中にひろがったことがあげられると思います。その住民のみなさんの「危機感」が、今、「まちの主人公になるう」-という意思へと変わり始めています。「投票が、住民のそんな意志に込められた大きな課題です。町へ届けられた大きな課題です。合併はひとまず終わりで、しかし、これからが大変。住民の「住民の担い手」となるべく、奮闘していきたいです。引き続き広報を担当します。よろしくお願いたします。 Kochi-T

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。 R100